

2026 年事業計画

自 2026 年 1 月 1 日

至 2026 年 12 月 31 日

3DST 一般社団法人
三次元スキャンテクノロジー協会

2026 年事業報告

1. 概括

昨年は、3D スキャンの新たな活用方法として秋田県のインフラ調査で実証実験を行い、その代替性の可能性を記すると共に新たな課題も見つかри、今後の活用における可能性を見出す事ができた。これは、会員の技術力の高さもさることながら、新たな試みを行おうとする関係者の尽力の賜物であると感じる。また、人手不足解消に向けた取組においても、自動化技術の発信を行うも、国内市場の縮小、円安基調の為替レート変動等、多くの不安材料に見舞われ、情報発信に留まっている。3D スキャナ自体の価格も下がり企業にとっては、導入しやすくなっているものの、技術者の育成に、時間を要する事から本導入には至っていないケースも多くみられる。

2026 年は、本業界にとって重要である展示会「Control」が開催されない事から、最新の情報確保が行いづらい事も懸念事項ではあるが、理事各位が国内外問わず、最新情報の取得に務めるように進めていく。

当会の根幹でもある「会員交流会」と「3DST トレンドセミナー」は、各々の情報共有を含めると共に、新規会員の情報発信の場としても重要であることから継続して行っていきたい。

また、インフラ調査での 3D スキャニングの活用幅を広げる為にも専門委員会を組織し、データの取得手法の確立、データ閲覧手法の確立など、メンバーの知見を併せて、エンドユーザーが使いやすいようにしたいとも考える。

当会は、2027 年に 10 周年を迎える。その前年の年として、実りある実績を多くの会員メンバーと共に作りあげ、10 周年を迎えたいと考え、更なるプレゼンス向上を念頭におき、会員の声と真摯に向きあい、2026 年の活動を進めて行く。

2026 年実施計画

1. 交流事業

会員の技術共有および会員同士の交流を目的とし、例年通り年 6 回の開催を行う。

具体的な時期としては、1 月・4 月・5 月・7 月・8 月・10 月・11 月を想定している。

また、会員の技術および製品の発信の場として「3DST トレンドセミナー」を例年通り年 3 回の開催を行う。具体的には、6 月・9 月・12 月を想定している。

2. 教育事業

新たな技術者の育成およびこれから導入する企業に向けたセミナー兼講習として、産業技術センターと連携し、年 3 回の実施に向け協議を行う。

また、次世代エンジニア育成に向け、工学院専門学校建築学科とも連携し、協議を進める。

3. 新活用事業

スマート保安として、新たな活用方法の専門員会を設置し、データ取得手法およびデータ閲覧手法の確立を目指す。

4. 広報事業

4-1. 広報誌「SCAN」

会員並びに 3D スキャニングを活用できる業界に向け、広報誌「SCAN」を 2 カ月毎に発行を行う。新技術や新製品を積極的に PR していく。

4-2. SNS

3D スキャニングを知らない方々に向け、どのような技術であるかを身近に感じてもらうべく、SNS を活用し、その魅力を発信していく。身近にあるモノや珍しいモノなのを含め、3D データにする過程や 3D データの魅力を伝える。

● 地方都市への普及

展示会を開催している都市部は、十分な情報が届いている。
情報が乏しい地方都市に情報を届け、デジタル技術を活用してもらう事で、
日本経済のさらなる活性化が図れると考える。

ターゲットは右図の通り。
産業技術センター等と共同で、技術普及を図る。



● 3Dスキャンの標準化

3Dスキャンニングの標準化が必要な理由とは。

アンケートを実施した結果

【現状の課題】

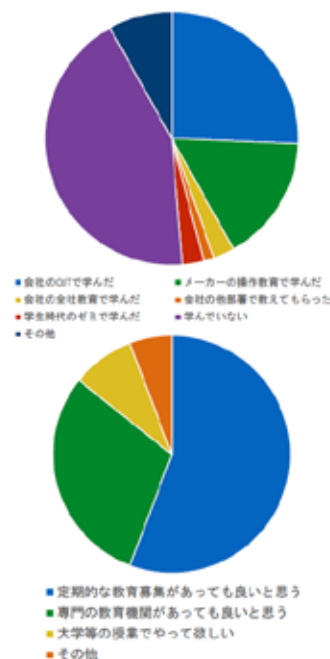
- ・専門の教育機関がない
- ・おおよげに認められた教育課程がない
- ・そもそも教えてくれる場所がない
- ・その他（独学、ネットで、ゼミ等）

その結果

【解決策としての要望】

- ・定期的な教育募集があってもよい
- ・専門の教育機関が必要
- ・大学などで教えてほしい
- ・その他（法人向けに教育提供があっても良いと思う、公教など）

多くの方から、求められている技術であると思われる。



●自動測定の普及

もう、人がスキャンしなくても、良いのではありませんか？



●インフラ調査への活用幅拡大

国内にある水力発電所は、その敷設から50年以上のも歳月が経過しており、老朽化が懸念されている。導水路内部の健全性評価は、数年に一度の割合で、カメラ設備と技術を有するコンサルタント会社に委託されていたが、熟練技術者による感応評価に頼っている。熟練技術者の減少などが進行する中で、熟練者に頼らず、客観的に健全性評価を行えるデジタル技術が求められている。



新潟 上越 水力発電所でダム引水の配管破裂 大規模土砂崩れも

2024年11月23日 18:59

〔注〕鉄塔と列車に巻き込まれた乗客の多くの死が原因で、ダムから水を引いている配管が壊れ、下流に土砂が崩れ出し、大規模な土砂崩れが起きているのが確認されました。死者数はまだ正確にはわかりませんが、配管が壊れたことで、配管が壊れた原因なども調査中です。



3Dスキャンの活用でサステイナブルな調査解析を行えるように！

2026年収支予算書

2026年1月1日～2026年12月31日

科目	今期	前期	増減
(1)経常収益			
入会金			
賛助会員	165,000	0	165,000
法人会員	220,000	220,000	0
個人会員	16,500	33,000	△ 16,500
学生会員	0	0	0
会費			0
賛助会員	3,630,000	3,300,000	330,000
法人会員	1,980,000	1,650,000	330,000
個人会員	382,800	316,800	66,000
学生会員	0	0	0
事業収入			
コンサルティング収入	25,920,000	15,474,089	10,445,911
売買収入	7,815,193	1,315,193	6,500,000
雑収入			0
利息	932	932	0
雑収入	527,863	1,291,267	△ 763,404
経常収益計	40,658,288	23,601,281	17,057,007
(2)経常支出			
事業費			
謝金	200,000	230,000	△ 30,000
会議費	25,682	25,682	0
交際費	1,500,000	1,854,338	△ 354,338
会場借用費	195,800	195,800	0
外注費	18,310,270	2,736,685	15,573,585
消耗品費	150,000	185,568	△ 35,568
支払手数料	420,453	420,453	0
役員報酬	6,900,000	7,100,000	△ 200,000
給料手当	4,500,000	4,331,135	168,865
法定福利費	1,550,681	1,550,681	0
福利厚生費	30,000	29,573	427
旅費交通費	3,000,000	2,029,230	970,770
通信費	151,200	131,171	20,029
広告宣伝費	635,200	533,362	101,838
運賃	300,000	22,858	277,142
賃借料	491,280	454,421	36,859
水道光熱費	88,066	88,066	0
保険料	90,960	90,960	0
租税公課	1,104,989	1,004,989	100,000
経常支出計	39,644,581	23,014,972	16,629,609
今期経常増減額	1,013,707	586,309	427,398